

IsatPhone 2



【製品概要】

【利用衛星】：インマルサットI-4衛星 3機

【カバーエリア】：全世界（極地を除く）

【端末仕様】



全長 : 169mm

全幅 : 52mm（アンテナ除く） / 75mm（アンテナ含む）

奥行 : 36mm

重量 : 318g（バッテリー含む）

インターフェース：マイクロUSB、音声入出力端子、アンテナ端子、ブルートゥース2.0

防塵防水・耐衝撃等級 : IP65・IK04

運用温度 : -20℃～+55℃

日本国内の災害時の通信手段としてご利用頂けます。

- ・地上局が海外にあり、停電、断線の影響を受けない。
- ・衛星の通信回線の容量に余裕があり輻輳が発生しにくい。
- ・静止衛星を利用し通話の安定している。
- ・防塵・防水性能（IP65に準拠）/耐衝撃性（IK04に準拠）
- ・高性能リチウムイオンバッテリー

連続通話時間・・・約8時間

連続待受時間・・・約160時間

IsatPhoneが災害時に利用できる理由

国内の災害に強い通信手段

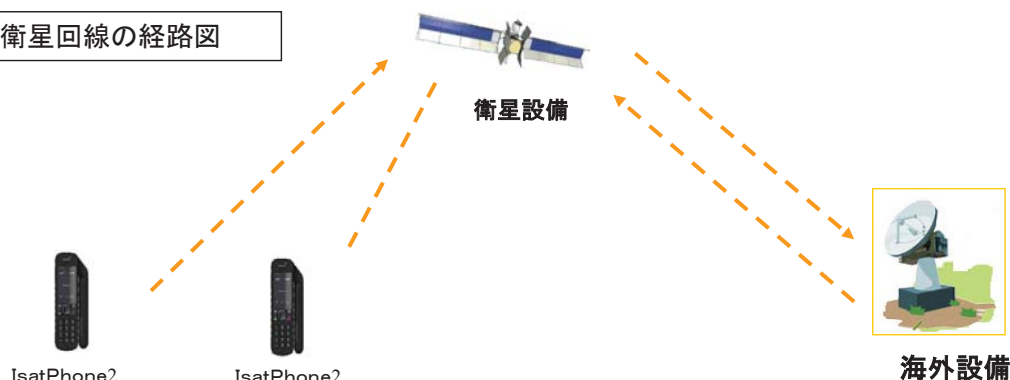
停電しない → 通信基地局は、宇宙の通信衛星と海外設備を利用

本体はバッテリーで運用

断線しない → 設備が日本国内にないので、国内災害で設備が破壊されない

輻輳しない → 世界最大の通信チャンネル数と輻輳対策

衛星回線の経路図



インマルサット社の衛星電話サービスの信頼性について

インマルサットは、「国際移動衛星機構」といい、ロンドンに本部があります。政府間条約（インマルサット国際条約）によって設立された国際機構であり20年以上の実績を誇る世界で最も信頼性のある衛星通信システムです。日本をはじめ各国の政府でも災害対策用として採用されており、緊急援助の分野でも活躍しています。

インマルサット衛星サービスとは

- インマルサットとは、「国際移動衛星機構」といい、インマルサット国際条約によって設立された国際機構であり、30年以上の実績を誇る信頼性のある衛星通信システムです。
- 日本をはじめ各国の政府でも災害対策用として採用されており、実際の大規模災害時に活躍した実績があります。

<大規模災害で、最も影響を受けにくい通信手段>

災害実績No.1

世界の災害現場での実績

2008年05月 四川省地震
2010年01月 ハイチ地震
2011年03月 東日本大震災



断線しない

- インマルサットの地上設備は日本国内にないため、国内災害で設備が破壊されることがありません。



海外基地局

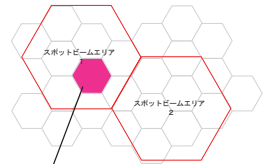
※ 基地局は、ニュージーランド（IsatPhone）、ハワイ（BGAN）にあります。

輻輳しにくい

※衛星通信回線数が
他の衛星サービスの
10倍以上！

輻輳対策技術

世界初の技術を搭載！



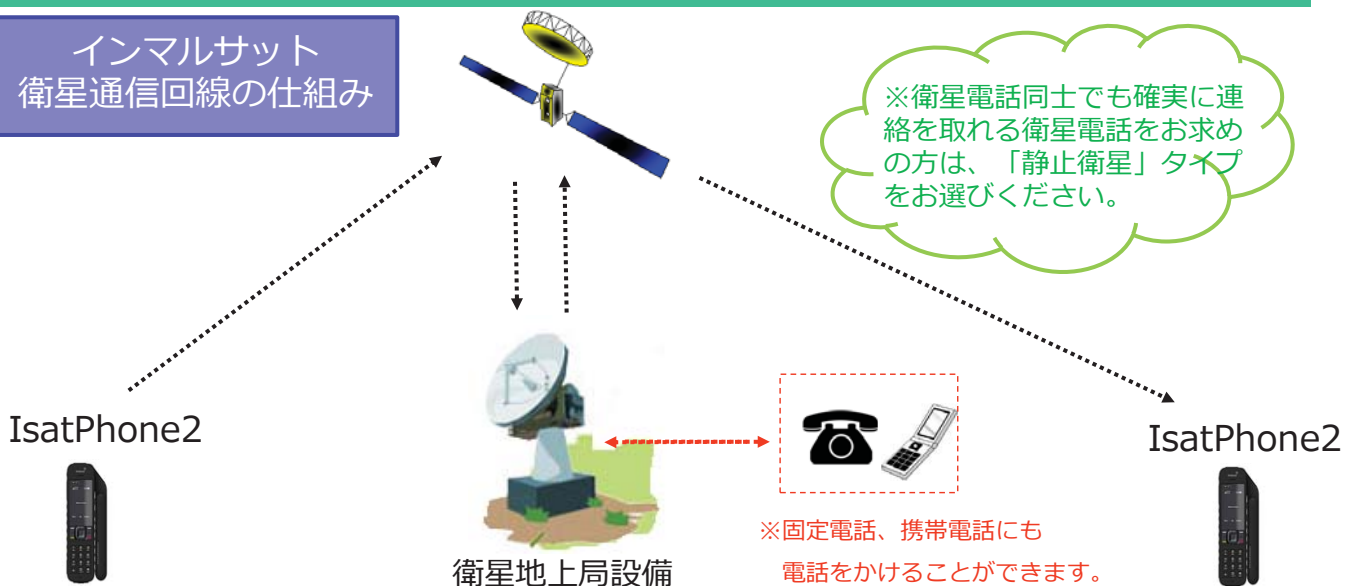
- 通信量が増加すると、他のエリアに向いている通信回線を、増加したエリアに向けることができますので、できるだけ輻輳を防ぐことができます。（衛星最大容量の80%迄）

停電の影響を受けない

- 衛星電話本体はバッテリーでの運用となります。

インマルサット衛星回線の仕組み(静止衛星)

インマルサット 衛星通信回線の仕組み



（静止衛星のメリット）

- 衛星電話のアンテナを衛星がある「南」の方角に向けて、電源を入れていただくと衛星の電波を捕捉することができます。
- 一度、衛星の電波を捕捉後は、常に衛星電話の受信発信が可能になります。
- 衛星電話同士でも確実に連絡を取ることができます。

（静止衛星のデメリット）

- 「南」の方角が開けていない場所では、衛星電話を利用することができません。